

年齢	54	歳	性別	○	男		女	初診	1984年9月5日	作成日	2017.9.10
主訴	心悸不安1年余り										
病史	1年前から明顕な誘因もないのに突然心悸不安が発生した。某医院の検査で冠心病で心房細動があると確定診断された。数か月入院して好転したので退院したが、ここ1ヵ月症状が重くなったので、我が科に治療を求めて来た。										
現病歴	現症としては、心悸、胸悶、胃納欠佳、食後腹脹、大便溏薄、小便略少。既往症としては特別記述するものは無い。										
四診所見 (検査)	【望診・聞診・問診・切診】 ①面色晄白 ②精神不振 ③行動緩慢 ④口唇紫黯 ⑤語音低微 ⑥心悸 ⑦胸悶 ⑧胃納欠佳 ⑨食後腹脹 ⑨小便略少										
舌診	⑩舌色黯紅										
脉診	⑪脉細而促（140回/分） 心電図は、快速の心房細動があることを示している。										
病位弁証	【五臓：肝・心・脾・肺・腎】【六腑：胆・小腸・胃・大腸・膀胱】【奇恒之腑：脳・隋・骨・脉・女子胞・命門・精室】										
八綱弁証	【表証・裏証・半表半裏証】【寒証・熱証】【虚証・実証】【陰証・陽証】										
病性弁証	【気病弁証】 気虚・気陥・気滞・気逆（肺気・胃気・肝気）・気随血脱・気虚失血・気血両虚 【血病弁証】 血虚・血熱・血瘀・気滞血瘀 【津液不足弁証】 【津液病弁証】										

病因弁証	【六淫弁証】 風・寒・暑・湿・燥・火 【七情弁証】 喜・怒・憂・思・悲・恐・惊 【飲食勞倦弁証】 傷食・中毒・過勞・過逸
病 機	
証 名	
弁証分析	
主要な 弁証類型	
治則治法	
配穴処方	
処方意義	
伝 変	
按 語	